

人と人をつなげる きっかけになりたい



佐藤つぐみさん

1984年10月21日生まれ。趣味は絵を描くこと。温泉1区在住。35歳

伊比美香子さん

1980年12月29日生まれ。趣味はスノーボード。温泉1区在住。39歳

Spotlight

スポットライト



とうやこ観光大使

伊比美香子さん
佐藤つぐみさん

「洞爺湖町の一番の魅力は、湖や海、山など自然豊かな風景です」

町の魅力を話すのは、とうやこ観光大使の伊比美香子さんと佐藤つぐみさん。

伊比さんは新潟県出身で東京の大学を卒業後に就職、3歳のときに倶知安町に

引っ越してきました。佐藤さんは、宮城県出身で高校を卒業後に就職、21歳のときに倶知安町に引っ越してきました。

2人は、2012年ごろに共通の趣味でもあるスノーボードを通じて倶知安町で知り合い意気投合。よく遊びに来ていて愛着のある洞爺湖にお店を開きたいの思いつから、2014年に洞爺湖町に移住し、チャレンジシヨップ支援事業補助を活用して、同年6月にハンバークーシヨップ「ハイドウン」をオープンしました。

洞爺湖町は、「湖や海、山など豊かな自然の他にもおいしい食べ物、人の温かさ、温暖な気候で住みやすいなど、たくさんの良いところが詰まっている町」と言います。

魅力のある洞爺湖町をPRするために「自称観光大使」を名乗ってフェイスブックなどで観光情報を発信し、2017年に町から公式に任命されました。

現在、観光大使として、オ

リジナルTシャツの作製やSNSでの観光情報の発信、フリーマーケット開催などの活動を行っている、「オリジナルTシャツは観光客はもちろん、ぜひ町民の人に着てもらい、町をPRする人がどんどん増えてほしい」と言います。

今後は、地域の若い人たちと協力し、町民や自分たちも楽しめるイベントやお祭りの実施に意欲を見せています。

「この町の田舎らしい良い雰囲気を残しながら、都会から移住して来る人や定住してくれる人、洞爺湖町を想ってくれる地域愛のある人が増えてほしい、人と人とのつながりによって町が盛り上がってほしい」と願いを話します。

伊比さんと佐藤さんは最後に「洞爺湖町を愛している人やこの町を好きになって移住してきた人が長く住める町にしたい。地域愛を持つ人が増えてほしい」と話し、「地域の活性化のために人と人をつなげるきっかけになりたい」と意気込みを語ります。

東奔西走



表紙の撮影で早朝の洞爺湖でスタンバイし、天気にも恵まれ、きれいな朝日を見ることができました。洞爺湖の景観の素晴らしさを改めて感じられました。(C.K)

北海道ではお花見の時期となりましたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行楽行事なども自粛となっています。この事態が少しでも早く終息することを願っています。(M.O)

今月のワンショット



「交通安全運動」街頭指導を行う住民ボランティアの皆さん